



連絡先

医療法人養和会 松本 みゆき
TEL 0859-29-5351
Mail matumoto_m@yowakai.com



医療法人養和会
松本 みゆき 看護師

一年の締めくくりでもある12月。コロナ以前に行われていたイベントなど、元のように開催されたり、人との交流が多くなった一年。慌ただしくなる12月で、お風呂に入ったりしてリラックスできる時間は作りたいですね。冬至に「ゆず湯」と言われます。寿命が長く病気に強いゆずの木にならって、ゆず湯に入り無病息災を祈るようになったという説があります。今年は、家族でゆず湯に浸かってみようと思います。



第41回 あさがおを開催しました！

寒くなり、手の乾燥がひどくなる時期。特に指先が大切だよね！となり、手の保湿をどうしたら良いのか？ 参加人数が少なかったため、グループLINEメンバーに問いかけてみました。これで改善しました！と写真が届きました。

第42回 ゆうがお



日時 12月17日(日) 19時~21時

場所 オレンジサロン (ハイブリッド開催)

第43回 1月31日(火) 13時~15時

—毎月開催— 奇数月：第4火曜 偶数月：第4土曜—

奇数月は「ゆうがお」として夜に開催します！
20時~21時 (19時~Zoomを開放・自由に出入り可)
参加希望の方はお気軽にお問い合わせ下さい！

オンラインでの参加希望の場合は、
事前に参加申込みをお願いいたします。

グループLINE

最近、相談・質問内容について、体験した人、情報を持っている人がコメントしています。化学療法の中で、食欲が出ず、むかつき、スッキリせず、こんな時、食べ物、飲み物を具体的に教えて欲しいと相談があり、それぞれが体験したこと、知っている情報をコメントし、みんなで情報共有しています。少しでも、過しやすい日常生活になれようと、みんなで応援しています。



あさがおの開催などの情報を掲載しています。ぜひご覧ください！



参加者のコーナー

今月のテーマ「おすすめの食べ物・飲み物！」



みかん大使

みかん



スイスミスのココア

A.H-



オムそば飯

ひろ



ミチヨ

なお

あさがお参加者、グループLINEメンバーからいただいた作品

次回の写真テーマ：『今年の思い出の一枚』

皆様の今年一番の思い出の一枚を募集します！ジャンルは問いません。お待ちしております☆

『あれから10年』

土橋 武彦

2013年の7月、会社の健康診断がきっかけで約2cmの胃粘膜下腫瘍が見つかった。

この時から自分が予想していた未来が変化することになりました。長男が16歳、次男が13歳の時です。翌年の1月に胃カメラで再検査すると少し大きくなっていると言われたが、それでも良性だからと6ヶ月後に再検査となりました。でも、その時に『これ以上大きくなったら悪性の可能性もある』と主治医が言った言葉が気になり、手術で腫瘍を切除する決断をしました。大学病院を紹介すると言われたけど、自分は良性の腫瘍と思い込んでいたので転院はしなかった。そして翌月に開腹手術で腫瘍を完全切除できました。

病理検査の結果は、悪性のGIST(消化管間質腫瘍)。聞いたこともない病名、知らない治療方法、高額な治療費、知っている情報はひとつもなく、ある日突然がん患者になるって、理不尽な現実を突きつけられた瞬間でした。

術後の主治医からの説明で、分子標的薬での治療をすることを提案されました。摘出した腫瘍は小さいけど非常に悪性度が高く、何もしなければ再発する確率が非常に高いとの理由でした。分子標的薬の説明を薬剤師さんから聞いていると、とても値段が高く高額療養費制度を使いながら治療を継続していくと言っていた。薬価を聞いて呆然とし、1ヶ月の処方でも高額療養費制度を使っても年間の医療費は支払える額じゃないと強い口調で訴えていました。子供達の教育費、生活のこと、色々考えると治療するために犠牲にすることばかり。薬剤師さんは、高額療養費制度を使って治療するよにと言うだけで、何もこちらの生活のことなど気にかけてもらえなかったのは残念だった。

自分は生きたい、子供達のごことは犠牲にしたくない、そう思って医療費の制度を自分で調べました。主治医に相談し、条件付きで3ヶ月処方をしてもらえたこと、高額療養費制度を深く理解し、自分にとって良い使い方を知れたことで、治療を継続できることになりました。分子標的薬での治療が始まって1週間くらい経過した頃、やはり心配していた副作用がでてきました。顔や脚が浮腫み、吐き気に苦しめられました。当時は職場での理解も難しく、分子標的薬の治療のことを知っている人はいない状況、憶測だけの噂話に悩まされていました。治療による副作用の悩みや理解されない事から、精神的に疲弊していました。そんな時、上司から社内誌に闘病のことを掲載してみないかと提案があり、その後は職場で理解してもらえるようになりました。

私の治療に終わりがなく、効果がある限り続きます。経済的な負担が続くだけでなく、毎日服用することで辛い副作用にも終わりがありません。そんな状況でも楽しいと思う事、新しい事にもチャレンジしています。いつ人生の終わりが来るかもしれないと思ったことで、後回しにしない行動をするようになりました。あれから10年、辛い事もあるけど、まだまだ楽しいと感じる時間を多くしたいと思っています。

